

週間漁海況情報—第21号

平成28年5月31日

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温

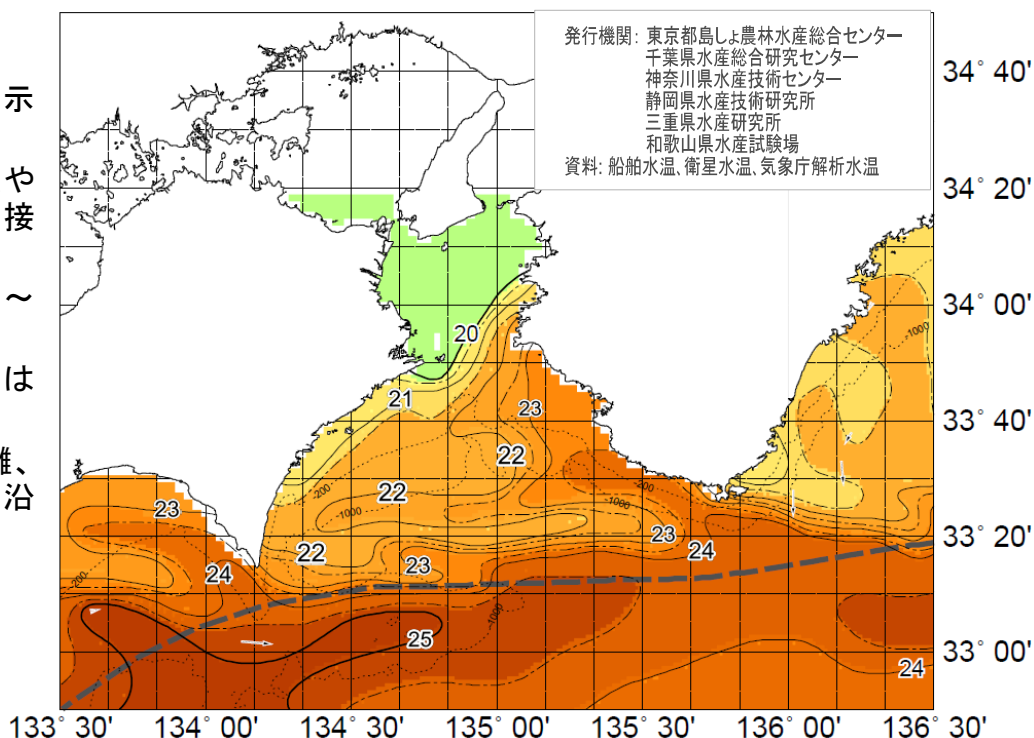
右に、5月31日時点の海況図を示した。

黒潮は、室戸岬沖で接岸（前週やや離岸）、潮岬沖でやや離岸（同接岸）している。

黒潮本流の表面水温は24℃～25℃台である。

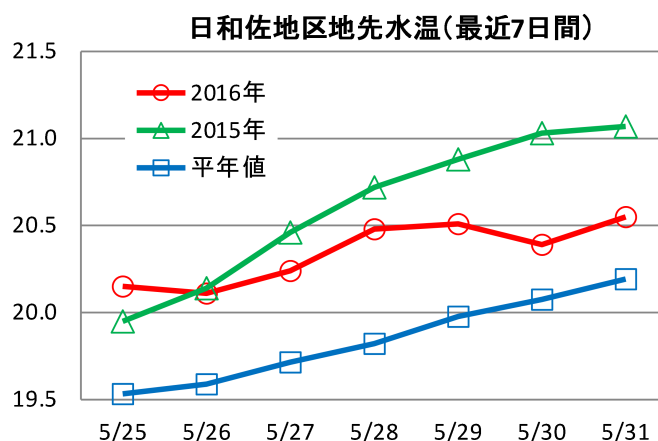
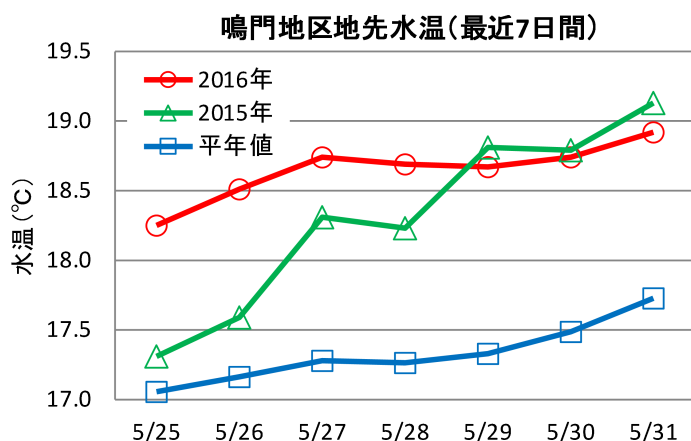
海部沿岸への内海系水の南下はみられなくなっている。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘、紀伊水道で19℃～20℃台、海部沿岸では20℃～21℃台である。



2. 地先水温

最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の18.3℃～18.9℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の20.1℃～20.6℃、牟岐地区は「やや高め」の20.4℃～21.7℃で、鳴門地区、牟岐地区では期間中頃に足踏みしたもの順調に上昇、日和佐地区では期間前半やや上昇したものの後半は横ばいだった。



※平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め／やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満、高め／低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め／かなり低め：平年値±2.5℃以上

※平年値 鳴門地区：1981年～2015年の平均値、日和佐地区：1982年～2015年の平均値、牟岐地区：1991年から2015年の平均値

3. 週間予報

黒潮は、室戸岬沖で「接岸」～「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地区、日和佐地区ともに引き続き「やや高め」～「高め」で推移する見込み。

漁況 5月23日～5月29日

1. 紀伊水道(標本漁協:3)

全体の漁獲量は大きく減った。

船びき網のシラスは増えて48.9ト水揚げされた。

延縄では、ハモが前週並みの4.9ト、ゴマサバが増えて大主体に0.6ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが前週並みの0.7ト水揚げされた。

底びき網は、出漁日数が減ったこともあり水揚げが大きく減った。

2. 海部沿岸(標本漁協:4)

全体の漁獲量は前週並み。

釣りでは、イサキが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

延縄では、アカムツが出漁日数、隻数および1隻当たりの漁獲がいずれも大きく増えて0.8ト水揚げされた。

小型定置網、大型定置網では引き続きいわし類が多く水揚げされている。

小型定置網では、マイワシが大きく減って5.0ト、ウルメイワシが大きく増えて3.7ト水揚げされた。

大型定置網では、いわし混ざりが前週からさらに増えて14.0ト、マルソウダが減ったものの1.1ト、小主体のシイラは大きく減って0.7ト、マアジも大きく減って0.3ト水揚げされた。なお、いわし混ざりはマイワシが主体で、ほかにウルメイワシ、キビナゴ、マアジなどが含まれている。

漁獲量集計表(漁獲量の多いものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比 [※]
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	116	シラス	48,865	421		↗
	延縄	42	ハモ	4,891	116		→
		30	ゴマサバ	602	20	大主体	↗
		45	タチウオ	501	11	特大主体	↘
	小型定置網	22	マアジ	706	32		→
		12	ブリ	220	18		↘
	底びき網	18	ハモ	696	39		↘↘
海部沿岸	釣り	31	イサキ	205	7	大主体	↗↗
	延縄	30	アカムツ	784	26		↗↗
		43	キダイ	342	8	大主体	→
	小型定置網	34	マイワシ	5,023	148		↘↘
		41	ウルメイワシ	3,667	89		↗↗
		49	マアジ	520	11	小小主体	↗
		41	とびうお類	227	6		↗
	大型定置網	10	いわし混ざり	13,993	1,399		↗
			マルソウダ	1,066	107		↘
			イサキ	782	78		↗↗
			シイラ	688	69	小主体	↘↘
			ヒラソウダ	519	52	大主体	↗
			とびうお類	388	39	中主体	↗↗
			マアジ	355	36	特大主体	↘↘
マルアジ			332	33	中主体	→	
メジロ			304	30		↗	
マダイ	247	25	中主体	↗			

※ 前週比 200%以上:↗↗、120%～200%:↗、80%～120%:→、50%～80%:↘、前週比50%未満:↘↘